

総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 府中町立府中北小学校 林 弘美

- 1 日 時 平成26年 6月26日(木) 5校時
- 2 学年学級 第4学年1組 33名(男子 13名 女子18名)
- 3 場 所 4年1組教室
- 4 単元名 校区の自然を調べよう ～自然かんきょう調べ隊～
- 5 単元について

○ 本学級の児童は、第3学年の総合的な学習の時間「北小の樹木をさぐる」において、継続的に校内の樹木を観察・調査したり、校区のすてきな場所を見付けたりする活動を経験してきた。また、「北小の野鳥をさぐる」では、校区の野鳥を観察し、自分が興味を持った野鳥を決めて調べたり、調べたことを新聞等にまとめたりしている。

そのため、「他者や社会とのかかわりに関すること」の学習の際、事前にやり方を学習するなどして、自信をもって人とかかわることができるような手立てをしていきたい。

○ 本単元は、社会科「ごみのしまつと活用」・「命をささえる水」の単元とかかわらせたり、府中町環境課が主催する「キッズ環境調査プロジェクト」に参加するという意識をもたせたりすることで、自分たちのくらしの身近にあるみくまり峡や榎川の環境について自分なりの課題を追究していきやすい単元である。また、身近な環境を題材にしているため、実際に環境調査もしやすく、家族や近所の人に昔の様子をたずねることもできる。自分たちが調査やインタビュー等をして見付けた課題に対して、自分たちに可能な方法で環境保全活動に取り組もうとすることは、環境に対する見方・考え方を深めるとともに、自分と環境との新たなかかわりをつくり出すことになるとも考える。

子どもたちの意欲や疑問を大事にしながら、普段の生活に立ち返らせたり、地域の人等への取材活動をさせたりして、自分たちにできることを考えていく活動を仕組んでいきたい。

○ 指導に当たっては、次の2点に留意していきたい。

探究的な学習にするために

実際に水質調査に出かけたりインタビューをしたりして体験活動を充実させることで、自分たちで課題を見付け、設定していくことができるようにする。 【課題の設定】

課題を解決するためには、どのような情報が必要かを考えさせ、その方法を調べていく活動を仕組んでいく。また、情報を収集する方法の中でも、地域の方等にインタビューをしたり手ほどきを受けたりする等、人とかかわる活動を多く仕組み、人とかかわることで楽しく有意義な情報が得られることを感じさせる。 【情報の収集】

自分たちで実際に調査活動等を行って得たデータや、書籍やインターネット等で調べたりインタビューから得たりしたデータ等から必要な情報を整理し、分析するための方法を工夫していく。 【整理・分析】

学習してきたことを自分たちの思いだけでまとめるのではなく、相手意識をしっかりとせ、伝えたい相手を意識したまとめができるよう指導していく。また、相手に伝わりやすい発表の仕方や言い方を学習し、自信をもって発表ができるようにさせる。

【まとめ・表現】

協同的な学習にするために

実際に行った調査活動のデータ等だけではなく、家族や地域の方等からのインタビュー内容や、書籍・インターネット等から得た情報など、多様な情報を活用できるようにする。

【多様な情報を活用して協同的に学ぶ】

環境というこれまでとは別の視点から北小校区の自然に触れたり、考えたりさせていくことで、自分を取り巻く自然や社会に対するかかわりをより広げていかせる。また、実際にみくまり峡から続いている榎川の環境を中心にして調査活動等の体験を行う際に、地域で環境を守る活動をされているグループの方々を講師として招いて学ぶ活動を仕組むことで、今までとは異なる視点から考えることができるようにする。その結果をもとにして自分たちが立てた課題を追究していくことで、くらしにかかわる環境に関心を深め、自分自身の生活を環境という視点から見直すことができるようにさせる。

【異なる視点から考え協同的に学ぶ】

個人や学級全体での学習だけではなく、グループ学習を多く取り入れたり、児童の意欲を大事にしながら活動時間を十分保証したりすることで、異なる意見や他者の考えを受け入れることができるようにさせる。 **【力を合わせたり交流したりして協同的に学ぶ】**

6 単元の目標と評価規準

【単元の目標】	
校区の自然を探り、それを改善したり守ったりするためにはどうしたらよいかを考える活動を通して、主体的に課題解決に取り組み、自分にできることを考え、実行することができるようにする。	
学習方法に関すること	○設定した課題について調べ、分析した結果や結果から考えたこと等を、相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現する。 ①自分たちが調査したり体験したりしたことから良い点や改善点を発見し、次の学習課題を設定する。 ②伝えたい相手を意識しながら、学習したことをまとめたり、発表したりしようとする。
自分自身に関すること	○自分の意見や考えをもち、課題の解決に向けて進んで行動しようとする。 ①榎川の環境調査を進んで行い、水質が悪くなる原因を考えようとする。 ②校区の自然をよりよくするために、自分にできることを考え、生活の中で生かそうとする。
他者や社会とのかかわりに関すること	○自分の意見と異なる意見や他者の考えを受け入れたり、地域の方と進んで交流したりすることができる。 ①自分と異なる意見が出ても最後まで聞き、協同して課題を解決する方法を考える。 ②家族や地域の方に北小校区のこと等についてインタビューすることで、進んで地域とかかわっていかうとする。

7 単元の指導計画

小単元名 (時間)	主な学習内容	評価規準 (評価方法)
1 校区の自然を調べよう (20 時間)	○校区の環境について考え、学習テーマを設定する。(2)	・ 普段の生活の中で気づいた良い点や改善点を出し合い、学習課題を設定しているか。 (行動観察) (学習シート)

	<p>○校区の自然（榎川）がどのような状態なのか調査する。(2)</p> <p>○調査したことを分析する。(2)</p> <p>○榎川の水質が悪くなる原因を予想する。(1)</p> <p>○専門家の話を聞いたり，実験や観察をしたりして，下水道について知る。(2)</p> <p>○「水辺の教室」で，みくまり峡の水生生物を調べる。(4)</p> <p>○調べたことを分析し，榎川の水質が悪くなる原因を考える。(1 (本時))</p> <p>○榎川の水質が悪くなることについて分かったことをまとめ，発表する。(6)</p>	<p>・設定した課題について調べ，自分の意見や考えを持っているか。 (行動観察) (学習シート)</p> <p>・地図やグラフを使って，分析しているか。(学習シート)</p> <p>・自分の意見と友だちの意見をまとめているか。 (行動観察) (学習シート)</p> <p>・下水道のことについて学習し，自分たちの生活を振り返っているか。(学習シート)</p> <p>・専門家に積極的に質問をしたり，指標生物の分類をしたりして，水質について調べているか。(行動観察)</p> <p>・自分と異なる意見が出ても最後まで聞き，協同して意見をまとめているか。 (行動観察) (カード)</p> <p>・伝えたい相手を意識しながら，学習したことをまとめたり，発表したりしているか。 (制作物) (行動観察)</p>
--	---	--

8 本時について

(1) 本時の目標

○インタビューや調査をした結果をグループで分析したり話し合ったりして，榎川の水質汚染の原因を見つけようとするができる。

(2) 準備物

画用紙 付箋 (4色)

(3) 本時の展開

学習活動	・指導上の留意点，◇予想される児童の反応 ◎言語活動の充実	評価規準(評価方法)
1 これまでの活動を振り返る。	<p>・ポートフォリオを使い，これまでの活動を振り返らせることで，後の活動にスムーズに入れるようにする。</p> <p>◇水辺の教室にはたくさん生き物がいた</p>	

	よ。 ◇下流の方が水がよごれていたよ。	
これまで調べたことを分析し、榎川の水がよごれる原因を見つけよう。		
2 今日の学習の流れを知り、どんな力を付けるか確認する。	<ul style="list-style-type: none"> • どんな力をつけるための活動なのかを意識させるようにする。 ◇今日は、友だちの意見を最後まで聞けるようにするよ。	
3 カード（付箋）に、調べてきて分かったことを書く。	<ul style="list-style-type: none"> • これまでの活動を振り返りやすくするために、活動ごとにカードの色を変えて書くようにする。 ◇ポートフォリオを見て考えよう。	
4 グループの中で友だちと意見を交流し合い、まとめる。（KJ法的な手法）	<ul style="list-style-type: none"> ◎お互いの考えを伝え合うことで、自分の考えを発展させ、グループの考えをまとめる。 • 自分の考えを深めることができるよう、声をかける。 ◇なるほど。そういえば、水辺の教室の時、たくさんの生き物がいたなあ。	【他者や社会】 ①自分と異なる意見が出て最後まで聞き、協同して意見をまとめようとしている。（行動観察）（カード）
5 まとめた意見を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> • 自分たちの意見と同じ所や違う所を見つけながら聞くことができるようにする。 ◇この意見は、ぼくたちと同じだね。	
6 次時の学習について知る。	<ul style="list-style-type: none"> • 次時から、分かったことを新聞にまとめていくことを知らせ、意欲をもたせる。 	

(4) 板書計画

校区の自然を調べよう

これまで調べたことを分析し、榎川の水がよごれる原因を見つけよう。

つきたい力

まとめ
 家庭から出るよごれた水
 ボイ捨てされるごみ